

## 取扱いの趣旨

インスリン（IRI）は、インスリン分泌能の評価を行い病型の診断（I型等）を行う検査であり頻回に実施する検査ではないが、薬剤変更時、コントロール不良例、治療方針の評価及び決定等、経過観察が必要な場合がある。

したがって、レセプトの請求内容から、医学的必要性が判断できる場合を除き、糖尿病診断後の患者に対するインスリン（IRI）の連月の算定は原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】 《平成30年2月26日》

24 糖尿病確定診断後の患者に対する連月のインスリン（IRI）の算定について

### ○ 取扱い

糖尿病確定診断後の患者に対するインスリン（IRI）の連月の算定は、原則として認めない。ただし、症状詳記等から薬剤変更時、コントロール不良例、治療方針の評価及び決定等、連月の算定の必要性が医学的に判断できる場合は認める。

### ○ 取扱いを作成した根拠等

審査情報提供事例（平成18年3月27日第2次提供事例）より「原則として、糖尿病確定後の患者に対して、インスリン（IRI）は認められる。」とされ、その理由として「糖尿病として診断されても、その型別の判断が困難である症例も見受けられる。糖尿病の病態把握、特にインスリン抵抗性を知るために、一定間隔での経過観察が必要な場合もある。まれな病型であるが、slowly progressive I型糖尿病においては、発症初期には一見II型糖尿病のような臨床症状を呈する。」としている。

インスリン（IRI）は、インスリン分泌能の評価を行い、病型の診断（I型等）を行う検査であり、病型の診断が既に行われ症状が安定している患者に対しては頻回に実施する検査ではないが、薬剤変更時、コントロール不良例、治療方針の評価及び決定等、経過観察が必要な場合もある。

これらの状態が病名又は症状詳記等で医学的に判断できる場合は、連月の算定は原則認められると判断した。

以上のことから、糖尿病確定診断後の患者に対してのIRIの算定は、一定間隔での経過観察が必要な場合等もあるため認めるが、病型の診断が既に行われ、症状が安定している患者に対しては頻回に実施する検査ではないため、連月の算定については原則として認めないとし、症状詳記等から薬剤変更時、コントロール不良例、治療方針の評価及び決定等、連月の算定の必要性が医学的に判断できれば認める場合もあるとして取り扱うこととする。

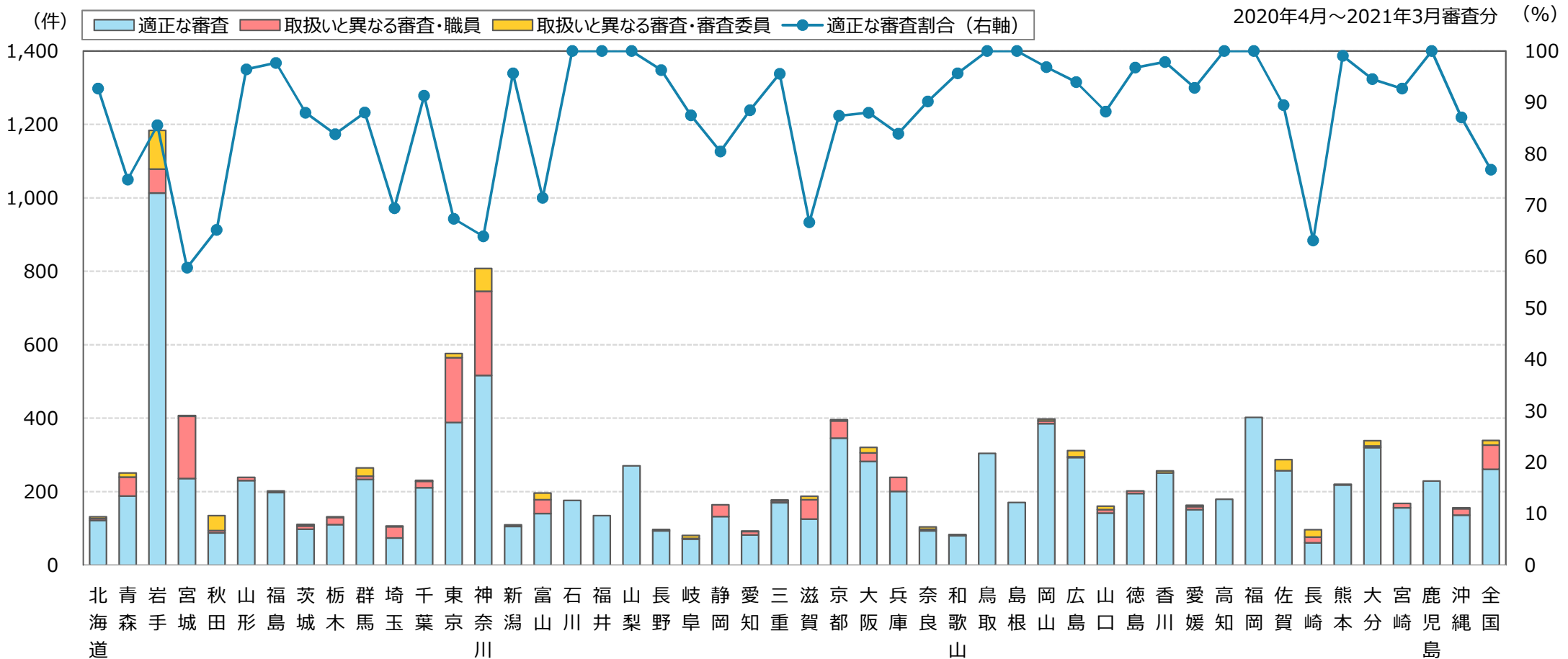
## グラフの見方

### 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

糖尿病確定病名がありIRIを算定しているレセプト1万件当たり、条件（糖尿病確定病名があり、連月、IRIを算定）に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

検証の結果、適正な審査をしている割合（全国76.90%）



該当件数	206	44	291	204	23	28	87	75	68	117	144	230	3,363	1,853	23	21	17	9	46	27	40	133	139	68	39	246	909	224	51	23	32	23	223	166	17	31	47	42	11	332	19	19	107	73	41	92	62	10,085
適正な審査件数	191	33	249	118	15	27	85	66	57	103	100	210	2,266	1,185	22	15	17	9	46	26	35	107	123	65	26	215	800	188	46	22	32	23	216	156	15	30	46	39	11	332	17	12	106	69	38	92	54	7,755

【該当件数】糖尿病確定病名があり、連月、IRIを算定しているレセプト件数

## 検証結果及び対応状況

検証観点	特に検証を要する支部	備考
①査定・返戻割合が低い支部	神奈川、宮城、鹿児島、山形、岩手、石川、大分	査定・返戻割合の低い順
②請求どおり・職員	神奈川、岩手、東京、宮城、鹿児島、群馬、京都	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	岩手、大分、神奈川、山形、宮城、鹿児島、広島	//

### ○特に検証を要する支部の評価及び対応状況

#### ①査定・返戻割合が低い支部

【適正な審査割合：100%】

- 鹿児島、石川

【適正な審査割合：100%未満】

- 神奈川、宮城、山形、岩手、大分

#### ②請求どおり・職員が多い支部

【取扱いと異なる審査：なし（適正な審査）】

- 鹿児島

【取扱いと異なる審査：あり】

- 神奈川、岩手、東京、宮城、群馬、京都

#### ③請求どおり・審査委員が多い支部

【取扱いと異なる審査：なし（適正な審査）】

- 山形、鹿児島

【取扱いと異なる審査：あり】

- 岩手、大分、神奈川、宮城、広島

### ■①から③を通して、適正な審査と判断した主な理由

請求どおりと判断したレセプトの多くは、高インスリン血症等の患者又は症状詳記等から薬剤変更時で連月算定の必要性が記載されており、適正な審査と判断したもの ⇒対応なし

：職員及び審査委員の認識誤り（取扱いの失念、不知等）  
⇒上司の教育及び審査委員長から連絡・再周知により是正

：職員の認識誤り（取扱いの失念、誤解等によるCCの解除）  
⇒上司の教育により是正

：審査委員の認識誤り（取扱いの不知等により医学的判断を誤ったもの）  
⇒審査委員長から連絡・再周知により是正

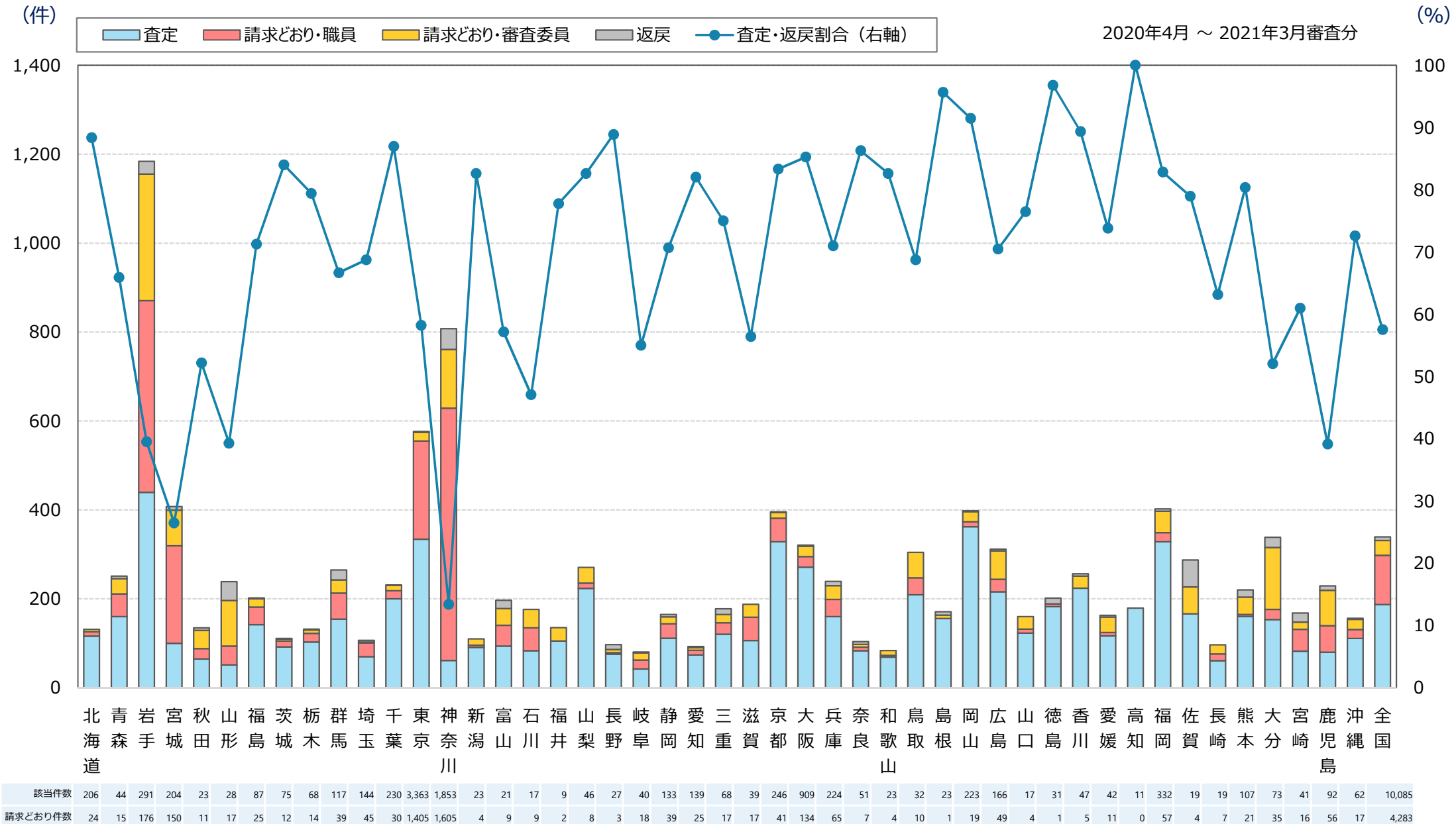
## 該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数10,085件のうち、7,755件（76.90%）が適正な審査結果（検証前は57.53%）  
CCの解除等による誤処理が2,330件（23.10%）

⇒概評：請求どおり（4,283件）を検証の結果、適正審査と確認されたレセプトは、傷病名や症状詳記等から、高インスリン血症等の患者であり、連月のIRI検査を必要とした事例であった。

支部	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査					取扱いと異なる審査 (CC解除等の誤処理)				
		計	適正審査 割合	査定・返戻		請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り 割合	職員	審査委員	
01 北海道	206	191	92.72%	182	0	182	9	15	7.28%	8	7
02 青森	44	33	75.00%	28	1	29	4	11	25.00%	9	2
03 岩手	291	249	85.57%	108	7	115	134	42	14.43%	16	26
04 宮城	204	118	57.84%	50	4	54	64	86	42.16%	85	1
05 秋田	23	15	65.22%	11	1	12	3	8	34.78%	1	7
06 山形	28	27	96.43%	6	5	11	16	1	3.57%	1	0
07 福島	87	85	97.70%	61	1	62	23	2	2.30%	0	2
08 茨城	75	66	88.00%	62	1	63	3	9	12.00%	6	3
09 栃木	68	57	83.82%	53	1	54	3	11	16.18%	10	1
10 群馬	117	103	88.03%	68	10	78	25	14	11.97%	4	10
11 埼玉	144	100	69.44%	94	5	99	1	44	30.56%	41	3
12 千葉	230	210	91.30%	199	1	200	10	20	8.70%	17	3
13 東京	3,363	2,266	67.38%	1,948	10	1,958	308	1,097	32.62%	1,032	65
14 神奈川	1,853	1,185	63.95%	140	108	248	937	668	36.05%	525	143
15 新潟	23	22	95.65%	19	0	19	3	1	4.35%	1	0
16 富山	21	15	71.43%	10	2	12	3	6	28.57%	4	2
17 石川	17	17	100.00%	8	0	8	9	0	0.00%	0	0
18 福井	9	9	100.00%	7	0	7	2	0	0.00%	0	0
19 山梨	46	46	100.00%	38	0	38	8	0	0.00%	0	0
20 長野	27	26	96.30%	21	3	24	2	1	3.70%	1	0
21 岐阜	40	35	87.50%	21	1	22	13	5	12.50%	1	4
22 静岡	133	107	80.45%	90	4	94	13	26	19.55%	26	0
23 愛知	139	123	88.49%	110	4	114	9	16	11.51%	14	2
24 三重	68	65	95.59%	46	5	51	14	3	4.41%	2	1

支部	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査					取扱いと異なる審査 (CC解除等の誤処理)				
		計	適正審査 割合	査定・返戻		請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り 割合	職員	審査委員	
25 滋賀	39	26	66.67%	22	0	22	4	13	33.33%	11	2
26 京都	246	215	87.40%	204	1	205	10	31	12.60%	29	2
27 大阪	909	800	88.01%	769	6	775	25	109	11.99%	67	42
28 兵庫	224	188	83.93%	150	9	159	29	36	16.07%	36	0
29 奈良	51	46	90.20%	41	3	44	2	5	9.80%	2	3
30 和歌山	23	22	95.65%	19	0	19	3	1	4.35%	0	1
31 鳥取	32	32	100.00%	22	0	22	10	0	0.00%	0	0
32 島根	23	23	100.00%	21	1	22	1	0	0.00%	0	0
33 岡山	223	216	96.86%	203	1	204	12	7	3.14%	4	3
34 広島	166	156	93.98%	115	2	117	39	10	6.02%	1	9
35 山口	17	15	88.24%	13	0	13	2	2	11.76%	1	1
36 徳島	31	30	96.77%	28	2	30	0	1	3.23%	1	0
37 香川	47	46	97.87%	41	1	42	4	1	2.13%	0	1
38 愛媛	42	39	92.86%	30	1	31	8	3	7.14%	2	1
39 高知	11	11	100.00%	11	0	11	0	0	0.00%	0	0
40 福岡	332	332	100.00%	271	4	275	57	0	0.00%	0	0
41 佐賀	19	17	89.47%	11	4	15	2	2	10.53%	0	2
42 長崎	19	12	63.16%	12	0	12	0	7	36.84%	3	4
43 熊本	107	106	99.07%	78	8	86	20	1	0.93%	1	0
44 大分	73	69	94.52%	33	5	38	31	4	5.48%	1	3
45 宮崎	41	38	92.68%	20	5	25	13	3	7.32%	3	0
46 鹿児島	92	92	100.00%	32	4	36	56	0	0.00%	0	0
47 沖縄	62	54	87.10%	44	1	45	9	8	12.90%	7	1
全国	10,085	7,755	76.90%	5,570	232	5,802	1,953	2,330	23.10%	1,973	357



【該当件数】糖尿病確定病名があり、連月、IRIを算定しているレセプト件数